

# 「博物館文化拠点機能強化プラン」ロジックモデル

## 現状

- ・我が国には、文化財をはじめ、有形・無形の貴重かつ魅力のある文化資源が多く存在。
- ・文化体験などの「コト消費」個人旅行の増加等旅行形態の多様化。
- ・博物館等の文化資源は観光振興に極めて大きな役割を果たす。
- ・各国の博物館も多数の観光客を集めており、我が国の博物館も高いポテンシャルを有している。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、来訪者数の減少とともに、博物館における国際交流も影響を受け、学芸員の交流や国際交流展の開催に支障が生じている。

## 課題

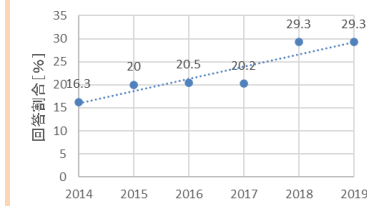
- ・魅力的な文化資源が存在していても、その価値を分かりやすく解説・紹介する取組や、戦略的な発信ができておらず、文化資源の保存・活用が進まない。
- ・博物館における文化理解のための設備をはじめ、多くの訪日外国人旅行者を受け入れに当たり、更なる受入環境の整備が必要である。
- ・ウィズコロナ・ポストコロナにおける持続的な国際交流モデルを構築するため、海外館と連携し、海外における博物館と日本文化のプレゼンスを高める必要がある。

## 本事業の目的

- ・文化観光推進法(令和2年4月17日公布、5月1日施行)に基づき、主務大臣(文部科学大臣、国土交通大臣)が拠点計画・地域計画を認定し、これらの計画に基づく事業に対して支援することにより、文化観光の総合的かつ一体的な推進を通じて、文化振興・観光振興・地域活性化の好循環の創出を図る。
- ・海外博物館等との連携の中で双方の学芸員等による共同調査・研究やデジタルアーカイブやレプリカ等のコンテンツを活用した事業を展開し、事業の効果検証を通じて、持続的な国際交流モデルの構築を図る。

## (現状・課題を示すデータ)

外国人旅行者が滞在中に経験したこと  
「美術館・博物館」と回答した割合



## 博物館のポテンシャル

海外ミュージアム	年間入場者数
ルーブル美術館	960万人
中国国家博物館	739万人
バチカン美術館	688万人
メトロポリタン美術館	677万人

(出典 米エイコム社「テーマパーク・博物館インデックス2019」)

(出典 観光庁「訪日外国人の消費動向」)

※2020年及び2021年は調査中止

## インプット (資源)

【文化観光推進事業】  
R4年度  
予算額  
総額  
2,070百万円  
対象予定件数  
45件程度

【博物館等の国際交流の促進】  
R4年度  
予算額  
総額  
52百万円  
対象予定件数  
3件程度

(関連施策)  
文化観光推進法

## アクティビティ(活動内容)

【文化観光推進事業】  
①文化拠点としての機能強化に資する事業に対する支援

②地域における文化観光の総合的かつ一体的な推進に資する事業に対する支援

③拠点計画・地域計画の策定・推進のための支援

【博物館等の国際交流の促進】  
①学芸員等の共同調査・研究

②デジタルアーカイブ・レプリカ等のコンテンツ製作

③学芸員等へのリモート教育等の実施

④事業成果等をシンポジウム等で発信

## アウトプット(活動目標)

①文化資源の魅力増進・地域の文化資源の調査研究・資料・コレクションのデータベース化・鑑賞しやすい展示改修・専門人材確保

②理解を深めるのに資する取組・展示品のわかりやすい解説紹介・多言語アプリ、オーディオガイド・VR・AR等の体験型コンテンツの制作・ガイドツアー事業の実施・専門人材確保

③利便の増進・地域内の周遊バス借上・キャッシュレス、Wi-Fi整備・バリアフリー整備(スロープ等)・館内案内の多言語化

④物品の販売提供、他施設との連携

⑤国内外への宣伝

⑥好事例の収集・分析

⑦専門家派遣

①国内及び海外の学芸員等の相互派遣、共同調査・研究等を実施

②新たな鑑賞・活用モデルを構築し、他の博物館等へ展開が可能

③海外の博物館等と協働してオンラインで展示会、セミナーやリモート教育等を実施

④事業の成果をシンポジウム等での報告により横展開

## 初期アウトカム (成果目標)

・各拠点計画・地域計画で設定した「来訪者の満足度」の向上  
※併せて、グループインタビュー等の実施により、コンテンツの改善を促進

KPI ③

・来訪者の文化資源への理解と地域住民の支援意識の向上

・利便性の向上により、計画地域での滞在や、周辺地域への回遊を促進

KPI ②

## 中期アウトカム (成果目標)

・充実したコンテンツの作成により、リピーターの増加及びポストコロナにおけるインバウンドの効果等による来訪者の増加

・文化観光拠点施設、文化観光推進事業者、地方公共団体の連携体制の深化

・国内の博物館と海外の博物館との国際交流が拡大

KPI ④

## 長期アウトカム (成果目標)

・より多くの来訪者が、文化観光拠点・地域において、魅力ある文化について理解を深めること

・文化観光拠点・地域のモデルを創出し、文化について理解を深める機会を拡大

・海外における日本文化のプレゼンスの向上及び文化を通じた国際相互理解の促進

## インパクト

博物館等の文化拠点としての機能強化や地域における文化観光の総合的かつ一体的な推進を通じて「文化振興・観光振興・地域活性化」の好循環を創出

## 測定指標と目標値

KPI ①

・文化観光推進事業者と連携して補助対象事業を実施する事業者数 (R4年41団体)

KPI ②

・海外との国際交流実施回数(1団体当たり年間15回) (R4年45回)

KPI ③

・「来訪者の満足度」に関する目標の達成度 (R4年80%⇒R6年80%)

KPI ④

・日本博物館協会会員館(2,314館)のうち、国際交流実施館の割合 (R4年6%⇒R8年12%)

## 現状・背景

- 文化観光推進法(令和2年4月17日公布、5月1日施行)に基づき、主務大臣(文部科学大臣、国土交通大臣)が拠点計画・地域計画を認定し、これらの計画に基づく事業に対する特別の措置等の支援を講じる枠組みを創設。
- 博物館等の文化拠点としての機能強化や地域における文化観光の総合的かつ一体的な推進を通じて「文化振興・観光振興・地域活性化」の好循環を創出。

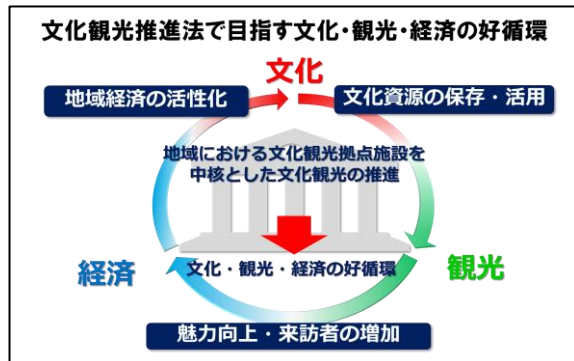
## 施策の方向性

- 文化観光推進法の認定計画に基づく事業に対する支援の充実
- デジタル技術やレプリカ等を活用した国際交流の促進、日本文化の発信機能の強化

## 事業内容

### 文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光推進

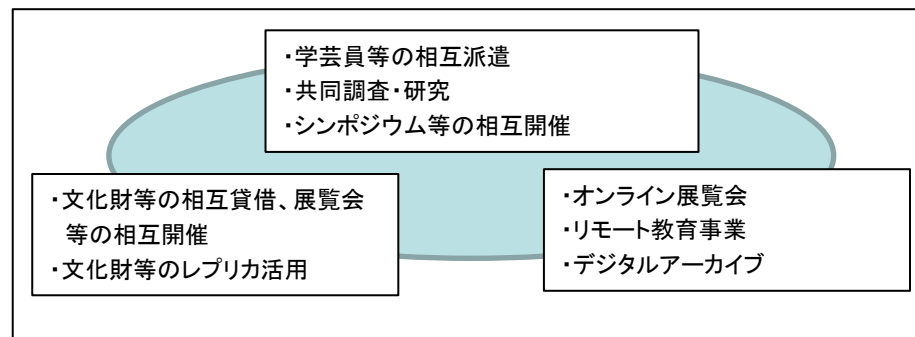
- ・文化拠点としての機能強化に資する事業に対する支援
- ・地域における文化観光の総合的かつ一体的な推進に資する事業に対する支援
- ・好事例やノウハウの普及、専門家の派遣



予算額: 2,070百万円  
(前年度予算額: 1,945百万円)

### 博物館等の国際交流の促進

海外館と連携し、ウィズコロナ・ポストコロナにおける持続的な国際交流モデルを構築



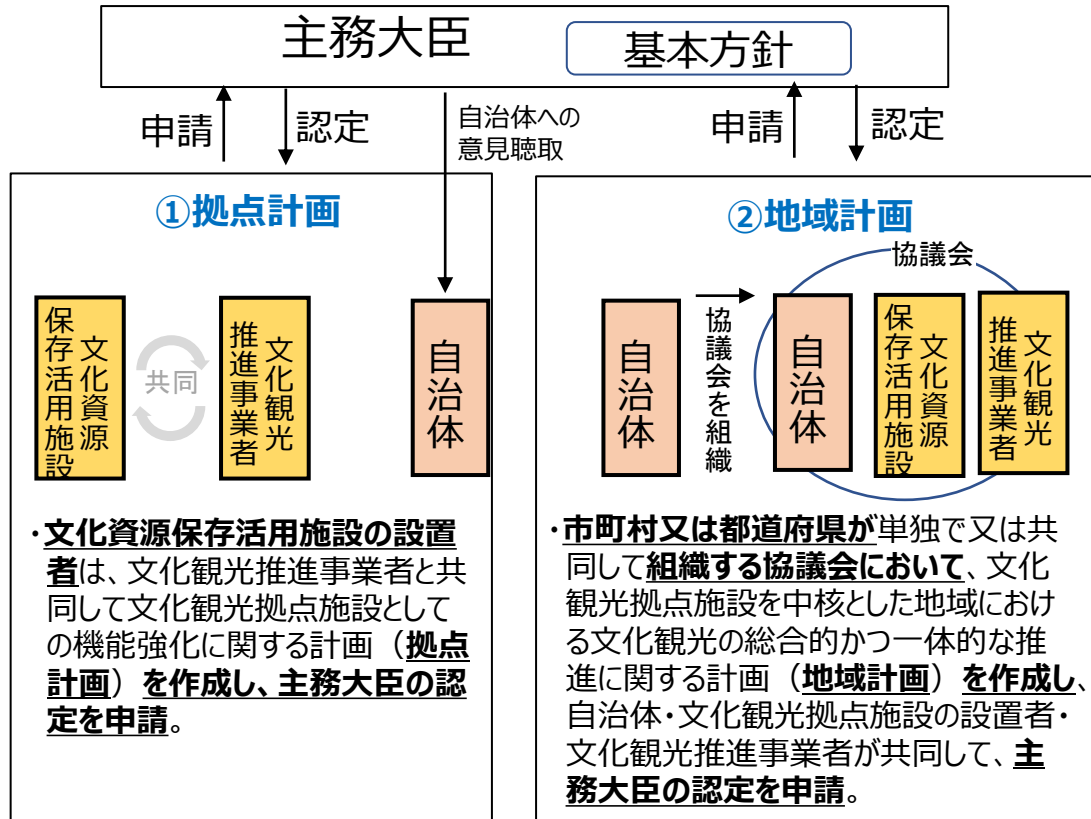
予算額: 52百万円 (前年度予算額: 52百万円)

# 文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光の推進に関する法律の概要

## 趣旨

文化・観光の振興、地域の活性化には、文化についての理解を深める機会の拡大及びこれによる国内外からの観光旅客の来訪促進が重要。文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光を推進するため、主務大臣（文部科学大臣・国土交通大臣）による基本方針の策定、拠点計画・地域計画の認定、これらの計画に基づく事業に対する特別の措置等を講ずる。

## 法案のスキーム



文化資源保存活用施設：博物館、美術館、社寺、城郭等  
文化観光推進事業者：観光地域づくり法人（DMO）、観光協会、旅行会社等  
文化観光拠点施設：文化資源保存活用施設が、文化観光推進事業者と連携し、文化についての理解を深めるための解説紹介を行う

※施行期日：令和2年5月1日

## 認定による国等の支援

### 法律上の特例措置

- ・共通乗車船券、道路運送法、海上運送法に関する特例措置
- ・文化財の登録の提案に関する特例措置
- ・国・地方公共団体・国立博物館等による助言、
- ・（独）国際観光振興機構（JNTO）による海外宣伝
- ・国等所有の文化資源の文化観光拠点施設での公開への協力等

### 予算上の措置

- 文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光推進事業
  - ・令和4年度予算額：2,070百万円
  - ・積算件数：45件程
  - ・補助率：予算の範囲内で補助対象経費の2/3
  - ・国の認定を受けた事業に係る地方負担分は特別交付税措置

（各計画において行われる事業のイメージ）

### ①文化資源の魅力増進

- ・地域の文化資源の調査研究 ・資料・コレクションのデータベース化
- ・鑑賞しやすい展示改修 ・専門人材確保

### ②理解を深めるのに資する取組

- ・展示品のわかりやすい解説紹介 ・多言語アプリ、オーディオガイド
- ・VR・AR等の体験型コンテンツ ・ガイドツアー事業 ・専門人材確保

### ③利便の増進

- ・地域内の周遊バス借上 ・キャッシュレス、Wi-Fi整備
- ・バリアフリー整備（スロープ等） ・館内案内の多言語化

### ④物品の販売提供、他施設との連携

### ⑤国内外への宣伝

## 文化観光推進法 認定計画（41計画）

R3年11月時点

認定年度	番号	計画の実施地域	計画	主な申請者	文化観光拠点施設
令和2年度	1	秋田県横手市	地域	横手市	横手市増田まんが美術館
	2	群馬県高崎市	拠点	群馬県	群馬県立歴史博物館
	3	東京都品川区	拠点	(株)寺田倉庫	WHAT
	4	山梨県	地域	山梨県	山梨県立美術館、平山郁夫シルクロード美術館、中村キース・ヘリング美術館、清春芸術村
	5	愛知県名古屋市	拠点	(公財)徳川黎明会徳川美術館	徳川美術館
	6	福井県福井市	地域	福井県	福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館、特別史跡一乗谷朝倉氏遺跡
	7	奈良県	地域	奈良県	奈良国立博物館、奈良県立美術館、奈良県立民俗博物館、奈良県立橿原考古学研究所附属博物館、奈良県立万葉文化館、なら歴史芸術文化村
	8	大阪府堺市	地域	堺市	堺市博物館、さかい利晶の杜、堺伝統産業会館
	9	岡山県倉敷市	拠点	(公財)大原美術館	大原美術館
	10	熊本県阿蘇市	地域	阿蘇市	阿蘇火山博物館
	11	青森県十和田市	拠点	十和田市	十和田市現代美術館
	12	山形県酒田市	拠点	(公財)本間美術館	本間美術館
	13	福島県会津若松市	拠点	福島県	福島県立博物館
	14	埼玉県所沢市	拠点	(公財)角川文化振興財団	角川武蔵野ミュージアム
	15	神奈川県横浜市	拠点	横浜市	横浜美術館
	16	新潟県十日町	地域	十日町市	十日町市博物館、越後妻有交流館キナーレ、まつだい雪国農耕文化村センター、越後松之山「森の学校」キョロロ、十日町市清津峡溪谷歩道トンネル
	17	石川県七尾市	拠点	七尾市	和倉温泉お祭り会館
	18	長野県御代田町	拠点	(株)アマナ	MMoP   御代田写真美術館(仮称)
	19	静岡県熱海市	拠点	(公財)岡田茂吉美術文化財団	MOA美術館
	20	京都府京都市	拠点	京都市上下水道局	琵琶湖疏水記念館
	21	奈良県明日香村	地域	明日香村	飛鳥宮跡、飛鳥京跡苑池、飛鳥水落遺跡、酒船石遺跡、石舞台古墳、牽牛子塚古墳、中尾山古墳、キトラ古墳、高松塚古墳
	22	徳島県	地域	徳島県	徳島県立博物館、徳島県立阿波十郎兵衛屋敷、阿波おどり会館、藍住町歴史館藍の館、徳島県立大鳴門橋架橋記念館(渦の道)
	23	徳島県美波町	拠点	美波町	日和佐うみがめ博物館カレッタ
	24	福岡県北九州市	地域	北九州市	北九州市立自然史・歴史博物館、北九州市立新科学館(仮称)
	25	長崎県長崎市	拠点	(株)ユニバーサルワーカーズ	軍艦島デジタルミュージアム

# 文化観光推進法 認定計画（41計画） R3年11月時点

認定年度	番号	計画の実施地域	計画	主な申請者	文化観光拠点施設
令和3年度	26	北海道小樽市	拠点	(公財)似鳥文化財団	小樽芸術村
	27	神奈川県横浜市	拠点	横浜市	横浜開港資料館
	28	石川県金沢市	地域	石川県	石川県立美術館、石川県立歴史博物館、金沢21世紀美術館、金沢能楽美術館、国立工芸館
	29	長野県長野市	拠点	長野県	長野県立美術館
	30	滋賀県彦根市	地域	彦根市	彦根城、彦根城博物館
	31	滋賀県長浜市	地域	長浜市	長浜城歴史博物館、長浜市曳山博物館、長浜鉄道スクエア
	32	大阪府大阪市	拠点	地方独立行政法人 大阪市博物館機構	大阪中之島美術館
	33	兵庫県姫路市	拠点	姫路市	姫路市立美術館
	34	兵庫県豊岡市	地域	豊岡市	城崎国際アートセンター
	35	和歌山県高野町	拠点	宗教法人金剛峯寺	総本山金剛峯寺
	36	鳥取県境港市	拠点	境港市	水木しげる記念館
	37	岡山県瀬戸内市	拠点	瀬戸内市	備前おさふね刀剣の里(備前長船刀剣博物館)
	38	福岡県宗像市・福津市	地域	福岡県	海の道むなかた館、福津市複合文化センター歴史資料館、宗像大社神宝館
	39	長崎県	地域	長崎県	長崎歴史文化博物館、大浦天主堂キリシタン博物館、平戸市生月町博物館 島の館、五島観光歴史資料館、有馬キリシタン遺産記念館、長崎県美術館
	40	大分県大分市	拠点	大分県	大分県立美術館
41	滋賀県大津市	拠点	滋賀県	滋賀県立美術館	

# 文化観光推進法 認定計画（4 1 計画）

R3年11月時点

